



▲寄付の目録を市長に手渡す赤嶺社長(右)

映画「信さん・炭坑町のセレナーデ」

売上金の一部を寄付

3月26日、映画「信さん・炭坑町のセレナーデ」の配給会社ゴールドラッシュ・ピクチャーズ(赤嶺和彦社長)が市役所を訪れ、田川先行上映会(3月13日開催)の売上金の一部20万円と感謝状を伊藤信勝市長に手渡しました。

この映画は、一昨年秋に松原炭住や旧三井田川鉱業所でロケがあり、約300人の田川地区住民がエキストラで参加しました。上映会には、市内外から約2千人が訪れ、懐かしい風景に見入っていました。

赤嶺社長は「地元の方々の協力のおかげで、素晴らしい映像が撮影でき、また田川での最初の上映会も成功裏に終わることができました」と感謝の言葉を述べました。

子鳩保育園

園児がお茶でおもてなし

3月14日、子鳩保育園の年長児が保護者に呈茶を行いました。呈茶とは「お茶をたててさしあげること」で、年長児は1年間、茶室での立ち振る舞いや、お菓子の食べ方、お茶の飲み方などを一生懸命練習してきました。

お茶に添えるお茶菓子は、子鳩保育園の鳩の形をしたものや旬のつくしの形をした和菓子を京都から取り寄せ、茶わんは福智町の窯元鈴木敬三さんから指導を受け、児童たちが一生懸命手間暇をかけて作りました。

主任保育士の日野多賀美さんは、「忙しい世の中、お茶を通して静寂を味わってほしい。卒業しても、この経験を思い出し、静寂の時間を大切にしてほしい」と話しました。



▲最後の礼儀作法もよくできました

bjリーグ

ライジング福岡が大勝

3月27日、総合体育館で男子プロバスケットボールのbjリーグが行われ、西地区2位のライジング福岡が同6位の京都ハンナリーズに93-66の大差で勝利を飾りました。

ライジング福岡に所属する福智町出身の石谷聡選手が登場すると、会場は割れんばかりの大歓声に包まれました。

プロのプレーを間近に見る、またとない機会とあって会場には小・中・高校生が数多く詰めかけていました。

ライジング福岡の小川忠晴ヘッドコーチは「選手一人ひとりが自分の役割をこなし、チームとしていいパフォーマンスができたと思います」と試合の感想を話しました。



▲迫力あるプロのプレーが繰り広げられました



▲みんなで過ごした時間はいい思い出です

「英語であそぼ」が12年間の活動にピリオド

Thank you for the last 12 year

3月15日、市民会館の人材バンク講座で、子ども向けの英語教室「英語であそぼ」(太田幸子代表)が最後の講座を開き、12年4カ月にわたる活動に幕を下ろしました。「英語であそぼ」は、週1回の活動と、季節ごとにハロウィン、イースター、子ども祭などを実施。

今までの講座で使用した英語の絵本や教材など約300点は「県内の方が誰でも活用できるように」と福岡県立大学図書館に寄贈しました。

太田さんは「皆さんに利用して頂ければ幸いです。たくさんの方が世界で活躍されることを願っています」と希望を話してくれました。



▲受賞を喜ぶ石原会長、尾垣教育長、皆川校長(左から)

後藤寺小学校が西日本国際財団アジア Kids 大賞受賞

韓国の吐月初等学校と国際交流

後藤寺小学校がアジアとの国際交流に貢献した団体などに送られる西日本国際財団アジアKids大賞を受賞し、皆川待子校長と石原克宣父母教師会会長が、3月29日、尾垣有三教育長に報告しました。

同校は、国際感覚を身につけさせたいと平成9年6月に吐月初等学校(韓国昌原市)と姉妹校縁組を締結。父母教師会の協力により、互いに児童を派遣してホームステイを体験させたり、作品を送り合ったりと交流を重ねています。

教育長は、「長年の取り組みが評価されてうれしい。子どもたちのためにこれからも続けてほしい」と受賞を喜んでいました。

ハッピーオーラ同好会

世界の子どもに元気を与えたい

3月18日、弓削田中学校のハッピーオーラ同好会(宮内雄基さん、奈木野美砂さん、荒亀満希さん、園友大翔さん)の4人が、地震被害を受けたハイチなどへの寄付の報告に市役所を訪れました。

ハッピーオーラ同好会は4年前に「自分もみんなもハッピーな学校・地域づくり!」を目指して結成。早朝募金や地元祭、文化祭などでのバザーによる収益(95,236円)をユニセフ協会などに寄付を行いました。

報告を受けた伊藤信勝市長は「ボランティアを続けることで相手を思いやる心ができます。この経験はみなさんにとって大人としての成長になったと思います」と話しました。



▲手作りのチラシや感謝状を手にするハッピーオーラ同好会のみなさん